

線虫の寄生性・生殖・進化

新屋 良治 氏

(カリフォルニア工科大学)

日時：2015 年 9 月 5 日（土）13:30～15:00 頃

会場：明治大学生田キャンパス 農学部 6 号館 6-101 室

非寄生性(自活性)線虫の 1 種 *Caenorhabditis elegans* は生物学研究におけるモデル生物として幅広く利用されており、ゲノム情報や実験手法の整備が十分になされています。その一方で、寄生性線虫(植物寄生性、動物寄生性など)を中心とするその他の種においては、扱いの難しさやゲノム情報・技術の不足により未だに解析困難な場合が数多くあります。実際、多くの寄生線虫病の分子メカニズムは現状ほとんど理解されておらず、線虫が有する様々な個性的な性質に関しても、多くの場合はその仕組みが良くわかっていません。そこで、演者の研究では植物寄生性線虫グループにおける分子情報や遺伝学解析手法の整備・確立を行なうとともに、彼らのユニークな「寄生」「性」「生殖」の仕組みとその進化過程を明らかにすることを試みています。セミナーの中では、研究紹介と併せて海外での研究生活における体験談にも触れて頂きます。『癌を見つける』と話題になったばかりの線虫の世界、若手研究者ならではのフレッシュな話題に耳を傾けてみませんか？